

〒184-8511 東京都小金井市桜町 1-2-20 / TEL042-383-4111 (代) [http:// www.sakuramachi-hp.or.jp/](http://www.sakuramachi-hp.or.jp/)**基本理念**

私たちはキリストのように人を愛し 病める人、苦しむ人 もっとも弱い人に奉仕します

基本方針

1. 地域の医療機関や福祉施設と密接な連携を保ち、地域に根ざした信頼される病院運営をめざします。
2. 患者さんの全人的（身体的、精神的、社会的、霊的）ケアを行います。
3. 医療従事者の力を結集した患者さん中心の総合的なチーム医療を行います。
4. 常に自己研鑽に努め、質の高い、安全・安心な医療を提供します。
5. 患者さんの声に誠心誠意耳を傾けます。

**新年のご挨拶**

病院長 小林 宗光



明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願
いいたします。

日頃より桜町病院に多大なるご支援を賜り、厚く御礼を
申し上げます。

桜町病院は患者さんの視点に立った、安全で優しく温も
りのある、患者さんに寄り添う医療の提供に努めています。
そして地域の病院、医師会、在宅診療医、訪問看護ステー
ション、高齢者福祉施設、地域包括支援センター、行政と
緊密に連携して地域医療に貢献し、患者さんが住み慣れた
地域で安心して暮らすことができるように支援して参りま
す。

桜町病院の一年を振り返ってみます。

地域連携型認知症疾患医療センター

桜町病院は東京都から地域連携型認知症疾患医療セン
ター（以下センター）の指定を受け、平成28年7月1日から
運用を開始しました。急激に進む高齢化に伴い増加する認
知症患者の対策が重要な課題となっており、人口119,440人
（2016.12.1現在）の小金井市も例外ではなく、65歳以上の
高齢者が24,784人、そのうち認知症有病者数は3,600人余り
と推計されています。桜町病院ではセンターの指定を受け
るに当たり診療体制の充実（臨床心理士による神経心理検
査を充実、MRI検査機器を高性能のものに更新）を図りま
した。

センターでは、認知症疾患に関する鑑別診断を行い、身
体合併症や行動・心理症状を評価し、専門医療相談を実施
しています。そしてかかりつけ医、地域包括支援センター、
ケアマネジャーなどの地域の保健医療・介護関係者と緊密
に連携をして、認知症の方が必要な医療・介護・生活支援
を継続して受けられるように地域の支援体制を作り、認知
症の人とその家族が地域で安心して生活できるようにサポ
ートしています。また専従の相談員を配置して、本人、家族、
関係機関からの相談にも応じています。身体合併症や強い
行動心理症状のため入院が必要になった場合でも地域の認
知症に係る専門医療機関、一般病院や精神科病院とも緊密
な連携を図っており、地域全体で受け入れる体制をとって
おります。今後、市民講座や認知症カフェなどを通して地
域に向けて認知症関連の情報を発信していきたいと思いま
す。

MRIを新機種に更新

10月1日から新機種のMRI（1.5テスラ）が稼働を始め
ました。以前のMRIでは臨床に必要な情報が十分得られない

疾患もあり、患者さんに検査のため他施設へ行っていただ
いたこともありご不便をおかけしましたが当院で十分な検査
ができるようになりました。撮影時間が短縮され、発生す
る音が小さくなったので患者さんの負担は軽くなりました。
またVSRAD advance2による解析が可能となりアルツハ
イマー型認知症の早期診断や認知症の鑑別診断にも大きく
貢献しています。

感染制御に対する取り組み

感染管理委員会、ICT（感染制御チーム）が以前より感
染防止対策や院内研修会を行ってきました。昨年4月から
感染管理リンクナース（現場でのリーダーとして活動、所
属する病棟で感染制御の知識やICTからの課題をスタッフ
1人1人に浸透させるという役割を担う）が活動を開始し
「感染防止対策を原点から見直す」ということで標準予防
策の徹底が図られました。またいくつもの取り組みが検討
され、看護師個人携帯の擦式手指消毒薬、ビニールエプロ
ン、環境クロス、検査科では採血の際「一患者一手袋交換」
を導入、定期的な院内ラウンドも始まりました。合わせて
感染防止対策マニュアルも改訂されました。

年末、耳にした2つのお話

病院玄関脇に立つ「復活のキリスト像」の前で写真を撮
っている母娘がおられたので、そこを通った夜勤明けの看
護師が「シャッターを押しましょうか」と声をかけたそう
です。するとお母様は「私は20年以上前に、この子をこ
こで出産しました。その時頂いたメダイ（*注）です」と持
っていたメダイを示し、「この子もここで出産したいと言
っています」と話されたそうです。（*不思議のメダイ：
聖母マリアによって示されたお告げと聖母マリアがデザ
インされたメダル。当院では以前から出産祝いにカードと不
思議のメダイを退院時に差し上げています。今はステンド
グラス製の天使像もお祝いに加えられました）。

病院の前から小金井街道に出る道があります、そこをシ
スターが歩いていると、後ろの年配のご夫婦の会話が聞こ
えてきたそうです。「桜町病院っていいよね」、「うん、桜
町病院っていいよね」と繰り返し二人で話しながら歩いて
おられたそうです。2つのお話を聞いて桜町病院は市民の
方々に長い間愛されてきたと胸が熱くなりました。

最後になりますが、新しい年が皆様にとりましても、病
院にとりましても、明るい年になりますよう祈念して、年
頭の挨拶とさせていただきます。

新年を迎えて

副院長 瀬口 秀孝

2017年酉年の新しい年を迎え、謹んで新春のお慶びを申し上げます。旧年中は、多くの方々に桜町病院をご利用いただき、また、近隣の医療機関の先生方には、病診連携、病病連携等、日常の診療に多大のご協力をいただきありがとうございます。桜町病院は、地域に根差した、地域の皆様から信頼される病院であることを目指しております。職員一同なお一層努力して参りたいと思っております。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

新年のごあいさつ

事務部長 富田 周次

新年明けましておめでとうございます。皆様には健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

やむなく病院に来られる皆様が、少しでも気持ちよく病院をご利用いただけるよう改善を進めています。その際、皆様の声は大変重要です。お応えできないこともありますが、お寄せいただく全てのご意見に病院幹部が目を通し活用させていただいています。今年も地域の皆様から一層信頼を寄せていただき、診療、サービス、接遇、施設設備など様々な点において満足していただける病院作りに努めてまいります。皆様にとりまして今年が良い年となりますよう祈念いたします。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

新年のごあいさつ

看護部長 田中久美子

新年明けましておめでとうございます。

昨年は各地方で自然災害にみまわれ、東京でも11月24日に54年ぶりに初雪があり震える寒さでした。

昨年の看護部門では、感染予防対策として感染制御実践看護師認定と、認知症の各期に応じたケアの実践者の認知症看護認定看護師を育成しております。

今後も、地域の皆様に愛され、信頼される病院づくりに努力したいと思っております。

本年もどうぞ、よろしくお願いいたします。

風邪予防

栄養科長 松尾 敦子

空気が乾燥し、風邪にかかりやすい季節がやってきました。

免疫力を高める食べ物を積極的にとり、風邪をひきにくい体づくりをしましょう。

★ビタミンC 免疫力を高めます

いちご・みかん・キウイフルーツ・ブロッコリーなど

★発酵食品 腸内環境を整え、免疫力をアップさせます

みそ・納豆・ヨーグルトなど



かぜに対するお薬は

薬剤科部長 池淵 剛

冬は、かぜをひきやすい季節です。

手足口病やプール熱といった夏かぜを除くと、かぜの流行は冬に見られます。それは、かぜを引き起こすウイルスの多くが、低温で乾燥した環境を好むため。

咳、鼻水、のどの痛みの3つの症状の一般的なかぜも、こういったウイルスによる感染症の一つです。

症状がつらく、早く治したい場合には、医療機関を受診したり薬局に行ったりしてお薬を服用することが治療の基本と思われるかもしれませんが、残念ながらかぜを根本から治す薬（かぜを引き起こすウイルスを殺す薬）は現在のところありません。したがって、これはすべてそれぞれの症状ごとに治療を行う「対症療法」となります。つらい症状を医師、薬剤師に伝え、自分のかぜ症状にあったお薬※を服用しましょう。一般的なかぜは、症状が続く期間が一週間弱で重症化しにくいので、病院や薬局で購入する、「対症療法」のお薬で十分に対応できます。

つらい症状を薬で抑えて、自宅療養するのが最もよい治療法となります。このときは、無理をせずに安静にして休息をとり、部屋を暖かくして身体を冷やさないように心掛けることが大切です。また、かぜによる体力の消耗を補うために、消化が良く、栄養価の高い食べ物を摂ることを心掛けましょう。熱が高い場合は、身体の水分が失われてしまうため、こまめな水分補給にも心掛けましょう。

ただし、かぜによる炎症が続くと、気道のバリア機能が破壊され、そこから細菌が肺に入り込み、肺胞にまで炎症が広がって肺炎になることもあるので、症状が長引く場合は、迷わず医療機関へ。

※ 医師が処方する医薬品は「医療用医薬品」と呼ばれ、薬局や薬店で販売されている医薬品は「一般用（OTC）医薬品」と呼ばれています。現在では成分には大差なく、OTCにはさまざまな症状に対応している総合感冒薬が多数あり、つらい症状によってお薬を選ぶこともできます。

★ビタミンA 鼻やのどの粘膜を保護します
かぼちゃ・人参・ほうれんそうなど



★香味野菜 体を温め発汗を促し、免疫細胞が活性化されます
ねぎ・にんにく・生姜など

偏った食生活は栄養不足がおこり、免疫力が低下し風邪にかかりやすくなります。

バランスのとれた食事（主食＋主菜＋副菜の組み合わせ）をこころがけることも大切です。



手洗い・うがいも忘れずに！！

桜町病院ボランティアの実際



看護部長 田中久美子

桜町病院のボランティアの歴史は長く、過去には主に中央滅菌材料室の材料作りや入浴介助などの病棟での手伝いが行われていました。その後、活動の種類や方法は時代の変化や病院を利用される方々のニーズでその形を変え、病院環境の変化とともにボランティアの内容も少しずつ変わってきました。療養環境のニーズも医療従事者による直接的なケアや関わりだけでなく、患者さんが療養してホッとする環境作りにボランティアさんは側面から貢献してくれ、存在自体そのものが癒しとなっています。当院の『桜町マインド』そのものとなっています。

ボランティア活動の内容を少しお話しします。まずは、病院の顔・表情でもある、「庭の水やり」です。暑い日も寒い日も早朝から活動し朝の空気を新鮮に感じ植物の命と季節を感じることができます。そして、不安を抱え病院にお出でいただいた正面には「総合案内」「病院案内」で受診の手続きやお困りごとに対しては窓口までご案内しています。本棚のカート2台で病棟の各病室をまわりご希望の本をお貸しする「ヨハネの本屋さん」。不思議な体験ができる「マジック」や、病棟の廊下やディルムで患者さんと一緒に歌う「コーラス」、「あかり」は、桜町病院で出産した母子に手作りのスタンドグラスの天使をプレゼントさせていただいています。そして産後のお母様方の集いの「まなざし」、ディルムやベッドサイドで聞いていただく「リラ・ピレカリア」「ライアー」など10グループの活動で、病院の縁の下の力持ち的な存在となっています。これからも総勢50名のボランティアさんが、やさしさとぬくもりのある癒しをお届けできるよう桜町病院が支援してまいります。

ボランティアと私



まなざしチーフ 船木 弘子

子育て支援サークル“まなざし”は平成14年から活動を開始しています。桜町病院で出産したママ達の集いで、小児科医師、助産師との交流とママ達同士の楽しいおしゃべりや情報交換が息抜きやストレス解消になっています。5名のボランティアメンバーは、このサークル運営のお手伝いとママ達がゆったりとした時を過ごせるように見守っています。不安気な様子でお見えになったママが安心した表情や笑顔で帰っていく姿や、小さな赤ちゃんが成長していくのを見守るのがメンバーの喜びです。“まなざし”に来て良かったと多くのママ達に感じてもらえるよう「笑顔」が飛び交う“まなざし”を届けていきたいと思っています。



シスターによる傾聴看護の実践を通して



シスター 星村 文子

各病棟受付には、希望者に上記の為訪問する機会を設定している旨の表示がなされています。病気になると、多くの方が「こんな状態では、みんなに迷惑ばかりかけてつらい。早く死にたい。私は邪魔者なんです。」など非生産的な状況にあることを人間失格者のような思いに捕らわれて、悩み苦しむことがあります。このような患者さんや家族が抱えている苦悩、孤独、不安、失望、葛藤などありのままの状態を共有し、祈りのうちにイエス様と共に留まるように努め、関わっています。患者さんや家族と全身全霊を込めて向き合うこと。とにかく逃げないで留まること。神様の道具として寄り添うことを第一にと心しています。私たち人間は、どのような状態であっても大切な使命があり、一人ひとりかけがえのない尊い存在です。この使命に患者さん自身が気づき、受け入れ納得慣れたとき、穏やかな表情に変化しているようです。この世での時間が限られている患者さんも人生の懐かしい思い出を喜んで分かち合い感謝のことばを残されます。つながりや絆に招かれていることで安心感を得られるようです。

当院の基本理念「私たちはキリストのように人を愛し、病める人、苦しむ人、もっとも弱い人に奉仕します」を心に刻みつつ、これからも患者さんと共に歩んでいきたいと思えます。



ホスピス外来のご案内



当院のホスピス外来は完全予約制で、平日月曜日から金曜日の午後に行っています。ホスピスは治療が困難と判断されたがん患者さんの痛みや苦しみを和らげ、難しい病気を抱えつつもどうしたらうまく病氣と付き合っていくかを一緒に考えていくところです。ホスピスをご理解いただいた上でそんなところなら行ってみたいとお考えの方は、まずホスピス相談窓口へお電話ください。外来予約が混み合っている場合には、ご病状によりキャンセル待ちなど日程を早められることもありますのでご相談ください。

外来受診の際は、病状を正確に把握するため、できるだけおかけの医療機関の紹介状をお持ちください。外来受診後ご希望によりホスピス病棟を見学することも可能ですので担当医にお申し出ください。

ご相談専用電話：042-388-2888

ご相談受付時間：土・日・祝を除く月曜～金曜9時～12時、14時～17時

院内研修会から 腰痛研修会

10月6日(木)、整形外科の増岡部長による「腰痛症について」の研修会が開催され、多職種から約40名の参加者が受講しました。腰痛が起きる原因や注意点、腰痛の疾患や症例について、手術前後の画像を見ながら、大変分かりやすく説明して頂きました。日頃から腰痛で悩んでいるスタッフも多く、普段から出来る腰痛予防について具体的に学ぶことができ良かったという感想が聞かれ、とても有意義な研修となりました。

災害に備える

10月26日(水)、医療安全研修の一環として、災害時に備えることの重要性について学ぶ機会を得ました。当日の研修では災害医療について幅広く活躍されている日本赤十字社医療センター救急科山下智幸先生を講師にお迎えして「災害に備える」というテーマでご講演いただきました。災害時におけるそれぞれの立場での役割やトリアージ等についてのお話がありました。災害に際して最も重要なことは「生き残ること」であり、その為に「命を守る行動をする」こと、「災害情報に敏感でいる」ことの重要性について学ぶことができました。

スピリチュアルケア研修

当院では基本方針に基づいた全人的ケアを行うために、スピリチュアルケアに力を入れています。今年度は、スピリチュアルケア研修として1年間で3回の研修を予定し、緩和ケアの概論から、スピリチュアルケアにつながるケアとしてのディグニティセラピー、聴く力を養うコミュニケーション等の研修を企画・開催しています。研修は職種を問わず大勢の方が参加し関心の高さが伺えます。このような研修によって桜町病院で働くスタッフが病める方々に寄り添い最善を尽くせるよう今後も教育活動を行っていききたいと思います。

桜町病院合同慰霊祭

平成28年度桜町病院合同慰霊祭が、11月3日午後2時からカトリック小金井教会においてご遺族、職員合わせて230名と大変多くの方々のご参列をいただき、ディン神父の主宰の下に厳かに執り行われました。

慰霊祭では、昨年9月から今年8月までに当院や小金井訪問看護ステーション関係で亡くなった260名の御霊にお祈りを捧げました。慰霊祭の後半では当院小林病院長の挨拶の後、参列者一人ひとりの手により白カーネーションの献花が行われました。



桜町病院学術講演会



11月9日(水)、小金井市医師会の先生方に参加いただき、講演会と意見交換会を開催しました。地域包括ケアシステムが有効に機能していくために、病院と開業医の先生方、在宅医療をされている先生方、病院と福祉施設等が連携していくことが重要になります。そういう中で桜町病院が一定の役割を果たしていくためにも、地域の先生方に当院で行っている、行うことの出来る診療内容などについてより深くご理解いただきたいという思いから、今回は当院の整形外科で行っている脊椎治療のうち「骨粗鬆症性椎体骨折の治療」について増岡部長の講演を行った後、ご参加いただいた地域の先生方とのパーティー形式での意見交換会を行いました。

患者さんの権利と責務

患者さんの権利

1. 人間としての尊厳を尊重されながら医療を受ける権利があります。
2. どなたでも、どのような病気でも平等かつ公平な医療を受ける権利があります。
3. 病状と経過、検査や治療の内容について、分かりやすい言葉で説明を受ける権利があります。
4. 十分な説明と情報に基づき、自らの意思で医療内容を選ぶ権利があります。
5. セカンド・オピニオンを希望される場合は、当院は快く診療情報を提供します。

患者さんの責務

1. 病状などに関する情報提供に努める責務
ご自分の症状や健康に関する詳細で正確な情報を医師や看護師等へ提供することにご協力ください。
2. 適切な医療行為が提供できるように努める責務
病院内では、他の患者様等に迷惑にならないように静粛を保つとともに、当院職員が適切な医療を行えるようにご協力ください。
3. 病院秩序を守る責務
病院内の秩序を守るために、当院の諸規則に従ってください。
4. 診療費支払いの責務
病院は診療報酬によって運営されています。医療費の支払い請求を受けた時は速やかなお支払いにご協力ください。

編集後記

新しい年を迎えました。医療界は2025年に向かって大きく変わりつつありますが、それ以上に世界政治の変動のうねりが大きくなっています。私たちの身近にどのような変化が起こるのか、不安を抱きつつも期待と希望の持てる年となりますことを祈念しています。(周)

